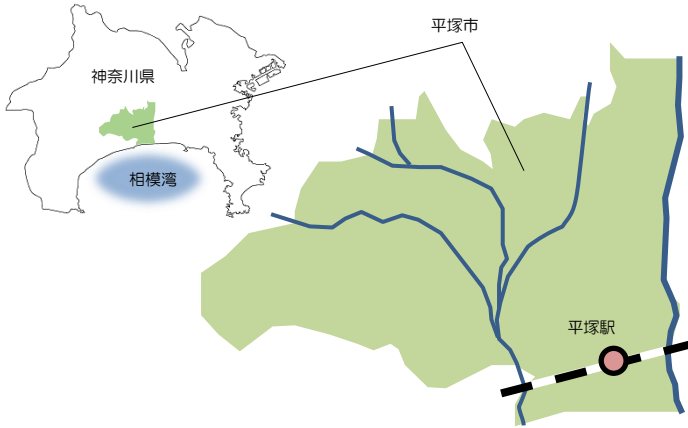


# ひらつかのまちづくり

ひらつかをより暮らしやすいまちにしていくための取り組みを紹介するよ



## まち

平塚市は、神奈川県かながわけんのほぼ中央、相模湾さがみわんに面した場所ばしょにあるよ。暖かくおだやかな気候きこうに恵まれていて、東部には相模川さがみがわ、中央部には金目川きんめがわが流れているよ。都心としんから約60kmの距離きょりにあり、多くの人が通勤つうきんや通学つうがくで平塚駅へいづかえきを利用しているよ。駅を中心に道路が伸びていて、自転車を使う人が多くいるよ。

## 仕事・観光

平塚市は、商業しょうぎやう、工業こうぎやう、農業のうぎやう、漁業ぎょぎやう、そして観光がバランスよく発展しているよ。工業は、自動車関連を中心に、相模川に沿って多く集まり、県内でも大きな規模きぼとなっているよ。農業は、米やバラ、野菜などが生産せいさんされているよ。観光では、「湘南ひらつか七夕まつり」が全国的に有名で、60年以上の長い歴史があるお祭りなんだ。

### 製造品出荷額等

県内 5位 / 33 市区町村  
全国 56位 / 1,666 市区町村

※出典：経済産業省  
「工業統計調査」(2013年)

### 年間商品販売額

県内 5位 / 33 市区町村  
全国 103位 / 1,741 市区町村

※出典：経済産業省  
「商業統計」(2007年)

### 平塚で採れる主な作物



イチゴ



キュウリ



ナス



トマト



コマツナ

## ひと

平塚市の人口は、25万8,246人(平成27年国勢調査結果速報)で、県内で6番目に人口が多いまちなんだ。東京都や横浜市などへ通勤する人が多くいるけれど、周辺しゅうへんのまちからたくさんの人が市内のお店や工場へ働きに来ているよ。また、市内には2つの大学があり、若い人が多く暮らしているよ。将来このまちで暮らす人たちがどう変わっていくのか。次のページで紹介するよ。

## 文化スポーツ

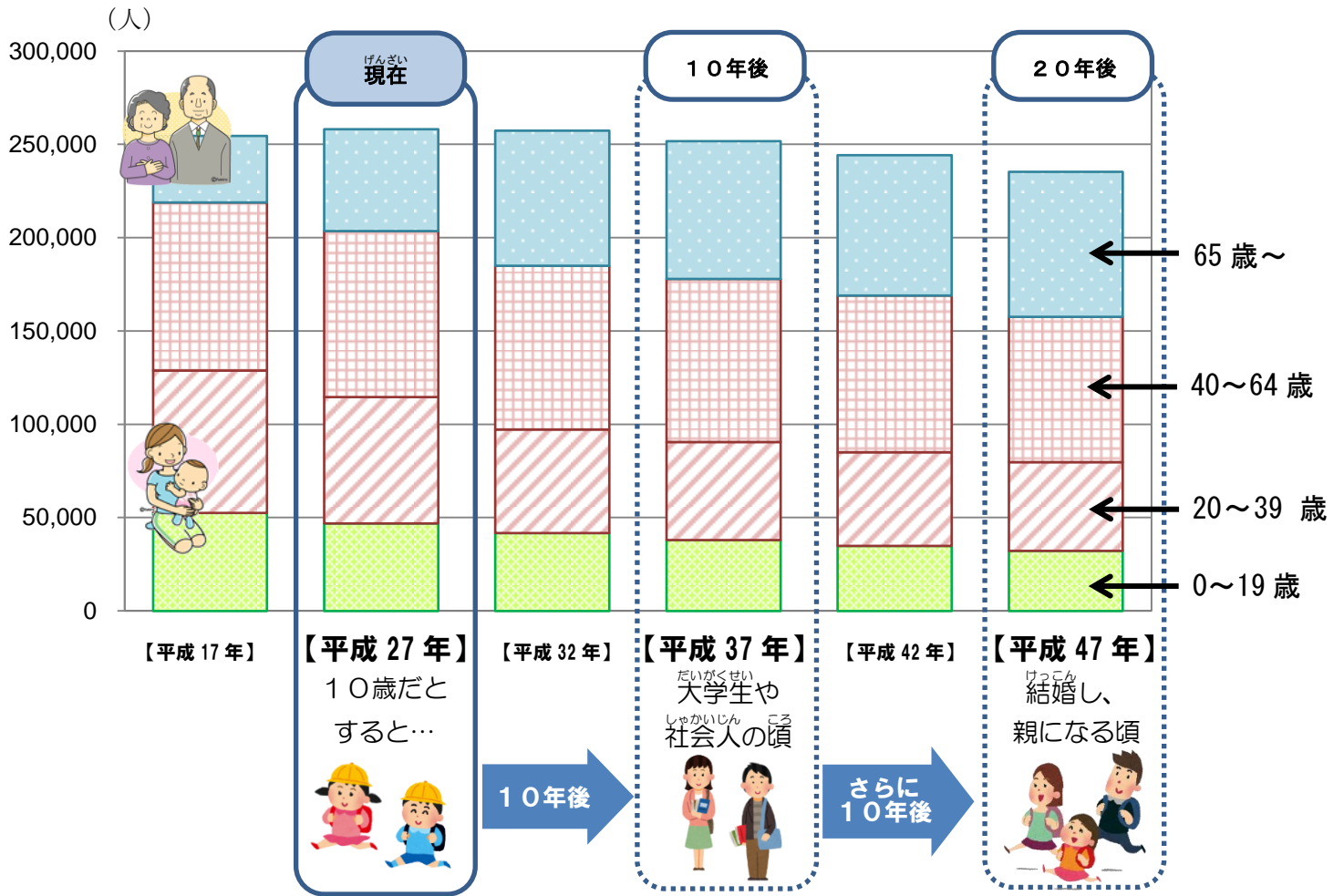
平塚市には、美術館、博物館、図書館、公民館などの施設があり、催し物を楽しむことができるよ。また、総合公園にはShonan BMW スタジアム平塚(平塚競技場)をはじめ、バッティングパレス相石スタジアム平塚(平塚球場)、トッケイセキュリティ平塚総合体育館などがあり、平塚のスポーツの中心地となっているよ。

## 自然

平塚市の西部に位置する吉沢地区や土屋地区には、みどりがたくさん残されているよ。市内には、3つの滝があり、「霧降りの滝」は平塚八景の1つにもなっているんだ。市街地にも自然を身近に感じられる場所として、広い総合公園があり、多くの人に親しまれているよ。



# 平塚市の人口はどうなるのかな



## 65歳以上のお年寄り

現在は、『約4人に1人がお年寄り』なんだけど、これからはお年寄りがもっと増えていくよ。平成47年になると『約3人に1人がお年寄り』になると予測されているよ。

➡ **考えてみよう** お年寄りの人が増えるとどうなるのかな？

## 20~64歳の働く世代

働く人の数は、だんだんと減っていってしまうんだよ。

➡ **考えてみよう** 働く人が減るとどうなるのかな？

## 20~39歳の主に子どもを産む世代

子どもを産む女性の数が減っていくと、生まれる子どもの数も減り、子ども全体の数も減っていくね。

➡ **考えてみよう** 子どもの数が減るとどうなるのかな？

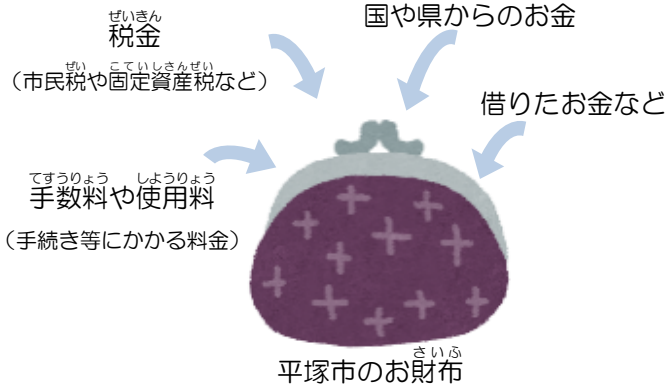


人口が減る中でお年寄りをどのように支えていくか考えなくてはいけないと思う。

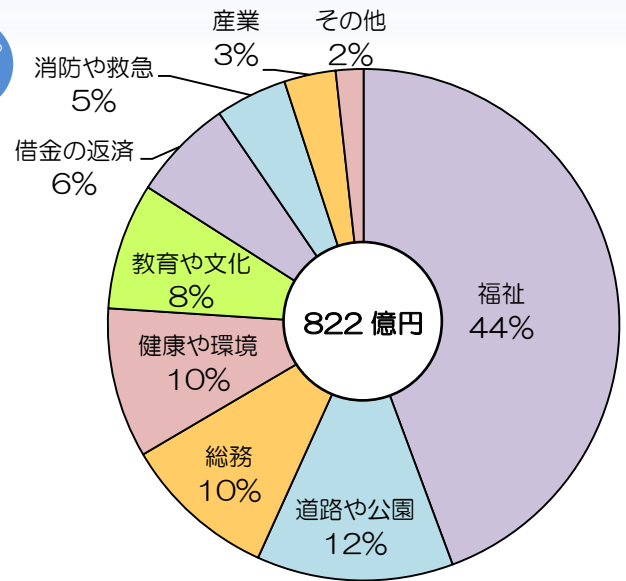
※平成26年に市が開催した「子どもワークショップ」に参加した中学生の意見

# 平塚市のお金の使いみち

収入



支出



支出を市民1人あたりに換算すると…

<p><b>福祉</b></p> <p>子育てやお年寄り、障がい者などに</p> <p>141,680 円</p>	<p><b>道路や公園</b></p> <p>道路や公園の整備や管理などに</p> <p>39,725 円</p>	<p><b>総務</b></p> <p>市役所の管理や戸籍、交通安全、防犯などに</p> <p>31,199 円</p>	<p><b>健康や環境</b></p> <p>健康づくりやごみの処理などに</p> <p>30,508 円</p>	<p><b>教育や文化</b></p> <p>学校や図書館、公民館、スポーツ施設などに</p> <p>25,590 円</p>
<p><b>借金の返済</b></p> <p>借りたお金を返すために</p> <p>20,550 円</p>	<p><b>消防や救急</b></p> <p>火災や救急などに</p> <p>14,470 円</p>	<p><b>産業</b></p> <p>商業、工業、農業、漁業、観光などに</p> <p>10,402 円</p>	<p><b>その他</b></p> <p>議会の運営や働く人などのために</p> <p>5,584 円</p>	<p><b>合計</b></p> <p>1人あたり 年間で 319,708 円 使われています。</p>

※平成28年度一般会計(当初予算)により算出

➡ **考えてみよう** これから使うお金が増えそうなものはなにかな？

働く世代が減り、お年寄りが増える中で、これからも住みよいまちにしていけるための取組みを紹介するよ ➡



将来暮らす人たちのことも考えて、お金を大切に使ってほしいな。

工夫をすれば、お金をかけなくてもみんなが快適に暮らせるまちになると思う。



# これからのまちづくり

## 働く場が生まれるまちづくり

お店や工場などを元気にしていくよ



工場やお店の<sup>とりく</sup>取組み  
を<sup>おうえん</sup>応援する



様々な仕事につける  
ようにする



<sup>ちいき</sup>地域の特色ある仕事が生  
まれるようにする

## 安心・安全に暮らせるまちづくり

<sup>きけん</sup>危険から身を守りやすいまちにするよ



<sup>たが</sup>お互い助け合い、<sup>さいがい</sup>災害から  
身を守れるようにする



<sup>はんざい</sup>犯罪が起りにくい  
ようにする



<sup>じこ</sup>事故が起りにくい  
ようにする

### 豊かな心と文化

- 子どもの<sup>じゅうじつ</sup>学びを充実する
- <sup>きょういくかんきょう</sup>教育環境を充実する
- <sup>しょうがいがくしゅう</sup>生涯学習や<sup>げいじゆつ</sup>芸術・文化活動の環境を充実する
- <sup>だれ</sup>誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境を充実する
- <sup>せいしょうねん</sup>青少年の<sup>けんぜんいくせい</sup>健全育成を推進する
- <sup>そくしん</sup>活発な市民の交流を促進する
- <sup>いしき</sup>平和意識の普及・<sup>けいはつ</sup>啓発を推進する
- <sup>じんけんそんちょう</sup>人権尊重・<sup>だんじょきょうどうさんかく</sup>男女共同参画を推進する

### 安心して暮らせる支え合い

- <sup>しえん</sup>子育て支援を充実する
- 健康づくりを推進する
- <sup>ちいきふくし</sup>地域福祉を充実する
- <sup>こうれいしや</sup>高齢者福祉を推進する
- <sup>しょうじや</sup>障がい者福祉を推進する
- <sup>かつどう</sup>コミュニティ活動を促進する
- <sup>ぼうさいたいさく</sup>防災対策を強化する
- <sup>さいご</sup>災害に強いまちづくりを推進する
- <sup>にちじょうせいかつ</sup>日常生活の安心・安全を高める
- <sup>しょうぼう</sup>消防・<sup>きゅうきゅうたいせい</sup>救急体制を強化する



子どもがたくさん生まれ、大人が安心して働けるまちにしたい。

# 子どもを産み育てやすいまちづくり

お母さんやお父さんが暮らしやすいまちにするよ



安心して子どもを産めるようにする



働きながら子育てができるようにする



子どもが安心して暮らせるようにする

# としよ お年寄りがいきいきと暮らすまちづくり

お年寄りが元気に活やくできるようにするよ



お年寄りが生きがいを持ち活やくできるようにする



お年寄りのこころや身体を元気にする



みなでお年寄りを支えられるようにする

## 自然と人の共生

- 環境にやさしいまちづくりを推進する
- 自然環境の保全を推進する
- 循環型社会の形成を推進する
- 快適な生活環境の形成を推進する
- 花とみどりにあふれるまちづくりを推進する
- 交通の利便性を高める

## 活力とにぎわい

- 産業の活性化を促進する
- 商業の活性化と中心市街地のにぎわいづくりを推進する
- 工業を振興する
- 農業・漁業を振興する
- 観光を振興する
- 雇用の確保と働きやすい環境づくりを促進する
- 新たな産業拠点の形成を推進する



安心安全なまちにしたいな。



みんなが健康で暮らしやすいまちにしたいな。

## みんなで進めるまちづくり

もっと暮らしやすいまちにするためには、市（行政）や地域で活動する人たち、会社、大学、そして市民みんなの力を合わせて、取り組んでいくことが必要なんだよ。

みんなにできることはなんだろう。



○電車やバスでお年寄りや身体の不自由な人に席をゆずろう

○地域や学校で行う防災訓練などに積極的に参加しよう

○地震などの災害に備えて、水や食料を用意しておこう

○ゴミは分別して捨てるようにしよう

○電気をこまめに消すなど、省エネルギーを心がけよう

○食生活や運動など、健康づくりを心がけよう

○市の歴史や文化を学んでみよう

○地元のお祭りや七夕まつりに出かけてみよう

○平塚産の野菜や魚をいっぱい食べよう



あれっ！もっとむずかしいことかと思ってたけど、ぼくにも今すぐできることばかりみたい。

本当ね！わたしにもできそうなことばかり。家族や地域の人たちと協力したら、全部できるんじゃないかしら。



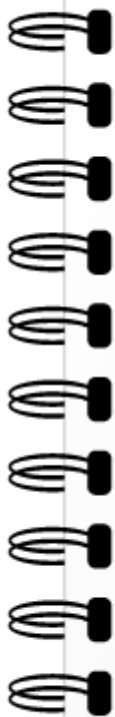
「まちづくり」って、ぼくたちが思っていたより身近なものなんだね。自分たちのまちのことをもっと知りたくなってきたね。



自分たちでできることは、自分たちで協力しながらやるのが大事だと思う。

みんなで考えてみよう

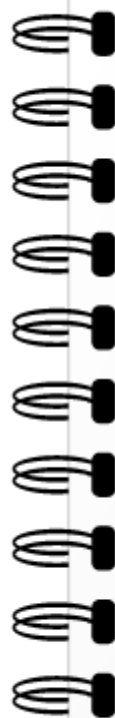
ひらつかの未来に何を残したい?どんなまちにしたい?



Lined writing area for the first question.



大人になったら、何ができるか(したいか)考えてみよう!



Lined writing area for the second question.





手をつなぎたくなる街

お問い合わせ先

平成28年7月 発行  
 平塚市企画政策部企画政策課  
 〒254-8686 平塚市浅間町9-1  
 電話 0463-23-1111 (代表)  
 E-mail:kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp

本書の作成について

本市では、平成28年2月に平塚市総合計画～ひらつか NeXT (ネクスト) ～を策定しました。  
 本書は、子どもたちがまちづくりへの興味や関心を高めるためのきっかけづくりを目的に作成したものです。